

ANNUAL REPORT 2024

公益財団法人静岡県文化財団 2024年度年次報告書



公益財団法人静岡県文化財団

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
TEL. 054-203-5710 FAX. 054-203-5716
<https://www.shizuoka-cf.org/>



<https://www.granship.or.jp/>



アーツカウンシルしずおか
ARTS COUNCIL SHIZUOKA

<https://artscouncil-shizuoka.jp/>

ご挨拶

公益財団法人静岡県文化財団は、1984年5月の設立以降、個性豊かな県民文化の振興を図り、県民生活の向上と活力あふれる郷土づくりに寄与することを目的として、各種の文化芸術の振興を図る事業に取り組んでまいりました。また、1999年からは、静岡県コンベンションアーツセンターグランシップの管理運営業務を県から受託しているほか、2021年には、当財団内に「アーツカウンシルしずおか」を設置し、県民主体の創造的な活動を支援しております。

さて、2024年度を振り返りますと、消費者の価値観や生活様式の多様化、ニーズの高度化などへの対応が求められる中、人件費や諸物価の高騰が進み、当財団にとって引き続き厳しい状況となりました。そのような中、企画事業では、ゲームミュージックなどの新しい分野に挑戦するとともに、他県の公共ホールとの連携事業にも取り組んだほか、若手音楽家の公演や育成にも力を入れ、県内だけでなく県外からも多くのお客様にご来場いただきました。年間の来場者数は10万人を超え、数々の喜びや感動の声を頂いたことは、職員の励みにもなりました。また、新たに「こどもたちのための文化芸術プロジェクト」を立ち上げ、県内企業6社様からご協賛をいただいて、子どもたちが文化芸術に触れる機会の充実を図りました。

グランシップの施設利用においては、コンベンションホールとして引き続き国際会議や国内学会等の誘致に力を入れたほか、映画やミュージックビデオの撮影といった新しい利用方法を提案し、積極的に誘致を行いました。また、屋外広場を活用したイベントを推進するなど、東静岡地区のにぎわい拠点としての役割も強化しております。あわせて、建築から26年を経たグランシップについても、安心安全をモットーに、適切な管理を行ってまいりました。

当財団は、今後も一層の研鑽を重ね、時代に即した事業展開を図ることで、文化の力による「心豊かで活力ある社会の持続的な発展」を目指してまいります。



公益財団法人静岡県文化財団 理事長 中西勝則

目次

2024年度 TOPICS	3
文化芸術の体験	4
創造的な活動への支援～アーツカウンシルしずおか～	16
グランシップの施設利用	20
その他の取組	25
静岡県文化財団を支える人々、ご協賛・ご協力団体・企業	28
事業体系図	29
決算状況	30
沿革・組織図	31

2024年度 TOPICS

こどもたちのための文化芸術プロジェクト

静岡県の未来を担う子どもたちが、地域性などの社会環境にかかわらず多彩な文化・芸術体験ができるよう実施してきた様々な取組を持続していくため、2024年度に「こどもたちのための文化芸術プロジェクト」として再構築。6社様にご支援を賜り、これまで長年にわたって実施してきた「こども・学生チケット1,000円」、「中高生鑑賞プラン」や「交通費支援制度」などの鑑賞支援に役立てたほか、新たに「ひとり親家庭等ご招待」の取組を実現した。



＜協賛企業＞ 株式会社静岡銀行 様 株式会社アイエイアイ 様 鈴与株式会社 様
株式会社アイワホールディングス 様 株式会社静岡新聞社・静岡放送株式会社 様

●ひとり親家庭等のご招待

公益社団法人静岡県ひとり親福祉連合会と連携し、ひとり親家庭等の皆様をグランシップ企画事業へ招待した。特に子どもたちが様々な文化芸術に触れることにより、心豊かな生活の一助となるよう取り組んだ。

ひとり親家庭等のご招待	
実施事業	18事業・22公演
招待者数	180家庭 424人（来場は222人）

●子どもたちの鑑賞を支援

子どものうちから多彩な文化芸術に触れるきっかけづくりのため、オーケストラや演劇、伝統芸能など全ての公演において、こども・学生料金を一律1,000円で設定した。また、中高生が学校やクラス単位、部活動の団体等で教員の引率のもとグランシップ企画事業を鑑賞する際には、こども・学生料金を1,000円から800円とし、併せて学校からグランシップ（または公演会場）までのバス代等交通費を当財団が負担。会場までの距離にかかわらず、県内全域の中高生が様々な公演を鑑賞できる環境づくりに努めた。この制度を活用して「国立劇場 歌舞伎鑑賞教室」や「中高生のためのオーケストラ」に全校で参加する学校も年々増えており、学校の体育館とは異なる専門的な音響・照明設備を備えた劇場での鑑賞は、生徒たちにとって特別な体験となった。



こども・学生チケット1,000円		中高生鑑賞プラン及び交通費支援制度	
実施事業	21事業、25公演	利用事業数	8事業、10公演
購入枚数	1,628人	利用学校数	33校（中学/19校、高校/12校、中学・高校/1校、特別支援学校/1校）
		申込者数	4,531人（生徒/4,202人 教員/329人）

●グランシップ子どもアート体験！学校プログラム

社会環境にかかわらず県内全域の子どもたちに多彩な文化芸術に触れてもらうためのアウトリーチプログラム。国内外の第一線で活躍する実演家や静岡ゆかりのアーティストとともに県内の小中学校や特別支援学校等を訪れ、子どもたちは間近で文化芸術を体験した。

グランシップ子どもアート体験！学校プログラム 他	
実施公演数	6事業、21公演
実施学校数	19校
体験者数	1,906人

文化芸術の体験

公益財団法人静岡県文化財団では、地域や世代、障がいの有無にかかわらず多くの県民が多彩な文化芸術に触れる機会を持てるよう取り組んでいる。特に子どものうちから文化芸術を体験し、豊かな感性や想像力を育むことを重点目標の一つとしている。

0歳から始まる、アートを「体感」するプログラム

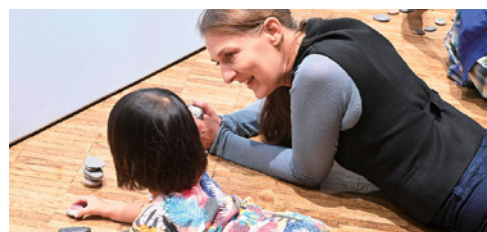
子どもから大人まで、五感をフルに使って文化芸術を「体感」できる機会を創出した。単に鑑賞だけではなく、アーティストとの触れ合いや音楽への参加、親子で作品を作り上げる体験など、子どもの好奇心を引き出すことを目指した。

●グランシップ 世界のこども音楽劇場2024 「あなたはここ～YOU ARE HERE～」

8/2(金)～4(日) 6階交流ホール 209人
出演:マダム・バウハ(デンマーク)



世界の子どもたちを魅了するアーティストによる、言葉を越えて楽しめるパフォーマンス。2024年度は様々な「音」にまつわるプログラムを実施した。デンマークのカンパニー、マダム・バウハによる『あなたはここ～YOU ARE HERE～』は、一人の女の子が〈自分の道〉を見つける冒険物語。趣向を凝らした小道具や心温まる演奏は、小さな子どもから大人まで、多くの観客を惹きつけた。上演後には「あそびの時間」が設けられ、子どもたちは一つ一つ異なる絵が描かれた石を手に、出演者と交流を深めた。舞台を通した世界との出会いは子どもたちの心にしっかりと刻まれたことだろう。



●グランシップスプリングフェスティバル グランシップしずおか食彩フェスティバル グランシップこどものくに～ばくばく!もぐもぐ!～

5/3(金・祝)～5(日・祝) 大ホール・海、芝生広場 他 34,280人



ゴールデンウィークに、子育て世代が家族で安心して楽しめる人気イベント「こどものくに」に加え、大ホールと広場での「しずおか食彩フェスティバル」とあわせて、「食」をテーマに「グランシップ スプリング・フェスティバル」として大きなぎわいを創出した。「こどものくに」では、テーマを「ばくばく!もぐもぐ!」として開催し、造形体験を通じて親子でコミュニケーションを取り、自由な発想で子どもたちの豊かな感性を育む機会を創出することができた。保育や美術を学ぶ学生ボランティアや市民団体、グランシップサポーターも参加し、地域や企業が一体となって子どもたちを支える場となっている。

●グランシップ 世界のこども音楽劇場2024 「にっぽんこども劇場～和太鼓わんだーらんど～」

8/2(金)・3(土) 大ホール・海 435人
出演:鼓童、静岡県立駿河総合高等学校和太鼓部

「にっぽんこども劇場」のシリーズとして、初めて「和太鼓」をテーマにしたオリジナル企画。太鼓芸能集団「鼓童」によるパフォーマンスは、その圧倒的な迫力と勇壮な姿に子どもたちの視線は釘付けとなった。技術や知識がなくても誰もが気軽に楽しめる太鼓の特性を活かした体験コーナーでは、小さな子どもから外国人まで多くの方が参加し、会場全体が笑顔と太鼓の音色にあふれる楽しい空間となった。今回は、静岡県立駿河総合高等学校和太鼓部と鼓童の共演、さらには和太鼓経験者向けのワークショップも実施するなど、県民参加のもと子どもたちのための事業を上げた。



●グランシップ冬のおくりもの2024-2025 こどもたちのための静フィルウィンター・コンサート

2025/1/19(日) 大ホール・海 1,805人
指揮:松村詩史 ソプラノ:Emi
管弦楽:静岡フィルハーモニー管弦楽団
司会:眞田里子



アマチュアオーケストラ・静岡フィルハーモニー管弦楽団とともに、0歳の子どもから気軽に音楽に親しめるコンサートを実施。カーペットに座って親子でゆったり鑑賞できるエリアを設け、迫力ある生演奏に加え、楽器紹介や参加型楽曲など、多彩なプログラムを展開した。スクリーンの映像や趣向を凝らした演出も加わり、会場は冬のひとときを楽しむ多くの家族連れで賑わった。

●GAME MUSIC on BRASS in グランシップ ～吹奏楽で楽しむ名作ゲーム音楽～

12/14(土) 大ホール・海 1,804人
指揮:大滝実 吹奏楽:BRASS EXCEED TOKYO
ミュージックナビゲーター:武藤啓太 他

「ドラゴンクエスト」や「ファイナルファンタジー」といった名作ゲームの音楽が、プロの吹奏楽団「ブラス エクシードトウキョウ」によるアレンジと演奏で披露され、ゲーム音楽の新たな魅力を多くの県民に伝えた。ゲームの世界観をイメージした記念撮影コーナーも親子連れに人気で盛況。「ドラクエ」等に親しんだ世代が親となり、子どもたちを連れて共にゲームの世界に没頭できる、喜びに満ちた空間となった。



県内各地の子どもたちへ、文化芸術が笑顔を運ぶ

子どもたちをはじめとする県民が身近な場所で文化芸術に触れられるよう、県内全域で出前公演・アウトリーチ事業を実施。地元の文化施設や学校の協力のもと、より広域的に文化芸術を届けた。

●玉川奈々福の浪曲教室

11/22(金) 牧之原市立坂部小学校(会場:石雲院) 195人

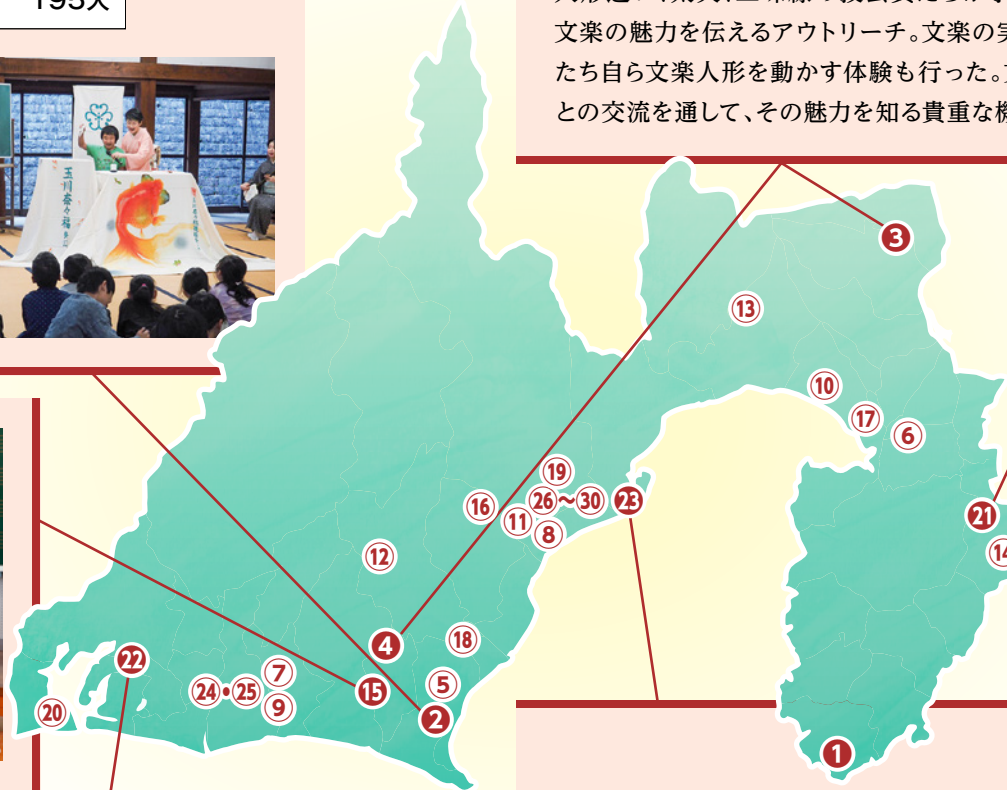
実施校の伝統的な学校行事である「仲良し学校」と連携して開催。保護者や地域の皆様の協力を得て、名利・石雲院の本堂で実施した。鑑賞だけではなく、子どもたちにも浪曲に挑戦してもらい、その魅力を全身で楽しむ一日となった。



●グランシップ登録アーティスト ミニコンサート

6月～1月 県内小学校・特別支援学校11校 計853人

静岡ゆかりのアーティストが県内各地の学校に生演奏を届けるプログラムを10校(⑪～⑳)で実施。菊川市立横地小学校ではソプラノ・メゾソプラノのデュオ、フィオリネが、児童との交流を交えながら音楽の魅力を伝えた。



●まるの可能性は無限大 ワークショップ

6/6(木) 静岡県立西部特別支援学校 32人
講師:白井嘉尚、鈴木まさこ

自由に表現する楽しさや、アーティストとの交流を通じて作品を作り上げることを目的とした創作ワークショップ。今回は美術作家・鈴木まさこの創作技法をモチーフに、「まる」を組みあわせて作品を制作。生徒一人一人の個性が溢れる作品は「誰もがWonderfulアート」本展会場で展示した。



●人形浄瑠璃 文楽 出前講座

5/29(水) 菊川市立河城小学校 251人
10/22(火) 御殿場市立御殿場小学校 171人

人形遣い、太夫、三味線の技芸員たちが小学校を訪れ、子どもたちに文楽の魅力を伝えるアウトリーチ。文楽の実演を鑑賞したほか、子どもたち自ら文楽人形を動かす体験も行った。文楽の担い手である技芸員との交流を通して、その魅力を知る貴重な機会となった。



●貼り絵ワークショップ

10/3(木) 静岡県立東部特別支援学校伊東分校 28人
講師:福井揚、白井嘉尚

子どもたちの自由な発想や、表現方法を認め合うワークショップ。現代美術家・福井揚と交流しながら、グループごとに大きなダンボールへ色とりどりのフェルトや布で貼り絵を制作。のびのびとした作品が完成し、子どもたちの顔には達成感があふれていた。



●ウィーンの名～ウィーン・アンサンブルVIMCA

2025/2/1(土) ウィーン・アンサンブルVIMCAによる演奏指導
静岡県立清水南高等学校・同中等部管弦楽部、
静岡県立清水南高等学校 芸術科 音楽専攻 76人

2025/2/2(日) 中ホール・大地 参加90人 入場者435人

翌日のコンサートでの共演に向け、ウィーンを拠点に活躍する演奏家が学校を訪れ合同練習を行った。生徒たちの演奏にウィーンのメンバーが強弱や繊細なニュアンスを加え、共に音楽を磨き上げた。公演当日、生徒たちは緊張しつつも練習の成果を発揮し、息の合った素晴らしい演奏を披露した。



公演名	開催場所	公演名	開催場所
① 玉川奈々福の浪曲教室	南伊豆町立南中小学校	⑧ 歌舞伎レクチャー	城南静岡中学校
② 玉川奈々福の浪曲教室	石雲院(牧之原市立坂部小学校)	⑨ 歌舞伎レクチャー	袋井市立浅羽中学校
③ 人形浄瑠璃文楽 出前講座	御殿場市立御殿場小学校	⑩ 歌舞伎レクチャー	沼津市立原中学校
④ 人形浄瑠璃文楽 出前講座	菊川市立河城小学校	⑪ グランシップ登録アーティストミニコンサート(フルートアンサンブルBouquet)	静岡県立静岡南部特別支援学校 静岡県立静岡視覚特別支援学校
⑤ 六代目宝井馬琴監修 講談教室	島田市立初倉小学校	⑫ グランシップ登録アーティストミニコンサート(Flautie)	静岡県立吉田特別支援学校 駿遠分教室
⑥ 六代目宝井馬琴監修 講談教室	函南町立東小学校	⑬ グランシップ登録アーティストミニコンサート(ミナトニカ)	静岡県立富士特別支援学校
⑦ 狂言ワークショップ	袋井市立袋井南小学校	⑭ グランシップ登録アーティストミニコンサート(TrioWINGS)	伊東市立富戸小学校

公演名	開催場所	公演名	開催場所
⑮ グランシップ登録アーティストミニコンサート(フィオリネ)	菊川市立横地小学校	⑳ ウィーン・アンサンブルVIMCAによる演奏指導	静岡県立清水南高等学校
⑯ グランシップ登録アーティストミニコンサート(ALBOSTリオ)	静岡市立服織西小学校	㉑ 中高生のためのオーケストラ	磐田市民文化会館「かたりあ」
⑰ グランシップ登録アーティストミニコンサート(Duologue)	沼津市立千本小学校	㉒ 東京フィルハーモニー交響楽団名曲コンサート	磐田市民文化会館「かたりあ」
⑰ グランシップ登録アーティストミニコンサート(FLAUTIE)	静岡県立藤枝特別支援学校	㉓ 詩人と語ろう!ことばを語ろう!	グランシップ
⑱ グランシップ登録アーティストミニコンサート(TrioWINGS)	静岡県立静岡北特別支援学校	㉔ グランシップ×県内大学連携事業 歌舞伎入門講座	グランシップ
㉑ グランシップ登録アーティストミニコンサート(ミナトニカ)	静岡県立浜名特別支援学校	㉕ グランシップ×県内大学連携事業「人形浄瑠璃 文楽」入門講座	グランシップ
㉒ 貼り絵ワークショップ	静岡県立東部特別支援学校伊東分校	㉖ グランシップ×県内大学連携事業 宝井琴鶴の講談教室	グランシップ
㉓ 誰もがWonderfulアート／まるの可能性は無限大	静岡県立西部特別支援学校	㉗ グランシップ×県内大学連携事業 玉川奈々福の浪曲教室	グランシップ

世界トップクラスのステージを静岡で

世界でもトップクラスの演劇や音楽などの文化芸術を、静岡で体験できる機会を創出した。静岡県内からはもちろん、県外からの来場者も多く訪れた。

●Medicine メディスン



撮影:田中亜紀

6/29(土)・30(日) 中ホール・大地 1,661人
作:エンダ・ウォルシュ 翻訳:小宮山智津子 演出:白井晃
出演:田中圭、奈緒、富山えり子／荒井康太(Drs)

2021年イギリスでの初演から瞬く間に世界の演劇界を席卷したエンダ・ウォルシュ最新作の日本初演。世田谷パブリックシアター企画制作の巡回公演として、兵庫県立芸術文化センター、東海市芸術劇場と連携し実施。白井晃演出、田中圭・奈緒をはじめ魅力的なキャストが揃い、県内外から多くの演劇ファンが来場した。来場者からは「圧倒された」「見応えがあった」との声が多数寄せられ、生の舞台ならではの熱量を感じ、その世界に没入するような体験を味わった。

●伊藤ゴロー+ジャキス&パウラ・モレレンバウム ～Tribute to Ryuichi Sakamoto～

12/4(水) 中ホール・大地 485人
伊藤ゴロー(ギター・編曲)
ジャキス・モレレンバウム(チェロ)
パウラ・モレレンバウム(ヴォーカル)
佐藤浩一(ピアノ)、小川慶太(ドラムス・パーカッション)
角銅真実(パーカッション)、伊藤彩(ヴァイオリン)
坂本美雨(ヴォーカル)



1990年代に坂本龍一とのユニット、Morelenbaum2/Sakamotoを結成していたジャキス&パウラ・モレレンバウムをはじめ、坂本龍一と縁の深い伊藤ゴローを中心としたトリビュート公演。上記ユニットのアルバム『CASA』の上質で心地良いブラジル音楽、ボサノヴァ曲を演奏したほか、グランシップ公演のみスペシャルゲストとして坂本美雨が出演。YMOの「ONGAKU」や坂本龍一作曲・坂本美雨作詞の「in aquascape」を披露し、静岡だけの特別な夜となった。「Merry Christmas Mr.Laurence」では印象的で美しい旋律が会場に響き、坂本龍一に思いを馳せ涙する来場者も見られた。

●Banksia Trio(バンクシア・トリオ) ゲスト:アン・サリー

7/14(日) 中ホール・大地 473人 Banksia Trio(須川崇志(ベース)、林正樹(ピアノ)、石若駿(ドラム))、アン・サリー(ヴォーカル)



ベース奏者・須川崇志を中心に、ジャンルレスに演奏するピアニスト・林正樹、日本一忙しいドラマー・石若駿で結成されたBanksia Trio(バンクシア・トリオ)の公演。比類なき疾走感と圧倒的な美しさ、全く新しいジャズピアノトリオといった高い前評判のとおり、柔軟で幅広い音楽性を活かし、息をのむほどに繊細な音を含んだオリジナル曲から、朝鮮民謡まで、ジャンルを越えた音楽をゲストヴォーカルのアン・サリーとともに届け、会場を魅了。静岡に新しい風を運んだ。

地域とともに創造・発信する

静岡県出身アーティストの起用や、自治体との協働、県民参加者からの意見を取り入れた公演制作など、県民が主役となる事業を地域とともに創り上げた。

●【グランシップ出前公演(磐田市)】 東京フィルハーモニー交響楽団名曲コンサート



11/16(土) 磐田市民文化会館「かたりあ」 1,338人
指揮:アンドレア・バッティストーニ ピアノ:仲道郁代
管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団

磐田市での出前公演として、県西部をはじめ多くの県民が一流の音楽に触れる機会を創出した。1911年創立、日本で最も古い歴史と伝統を誇る東京フィルハーモニー交響楽団による公演で、同楽団首席指揮者のアンドレア・バッティストーニと、ソリストに浜松市出身のピアニスト仲道郁代を迎え、ベートーヴェンの名曲を披露。アンコールでは磐田市歌「ふるさとわたが」が演奏され、一層の大きな拍手と共に終演した。

●静岡JAM2025

2025/2/23(日・祝) 大ホール・海 638人 ADAM at、TRI4TH、fox capture plan

静岡の新たな音楽イベントとして初開催した「静岡JAM」。県内でラジオパーソナリティや音楽フェスの主催者をつとめる磐田市出身のキーボーディスト・ADAM atに、TRI4TH、fox capture planが加わり、新しいジャズシーンで世界を魅了する3バンドが出演した。大ホール・海の特徴を活かした演出や、バンドの垣根を超えた今回だけのスペシャルなセッションもあり、県内外から来場した観客たちを最高潮に沸かせ、ライブの楽しさを改めて伝えた。



●グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル2024

8/11(日・祝) 大ホール・海 1,240人

近年最多となる14の県内アマチュアビッグバンドが出演し、250名を超える県民ジャズ奏者たちが大ホール・海に集結した。世代や性別を超え、各バンドが熱演を披露。ジャズ・ヴォーカリストの佐藤ひびきをゲストに迎え、3バンドとの共演のほか、出演者有志の合同演奏にも参加しフィナーレを彩った。夏の恒例行事として毎年訪れるファンも多く、親子席や楽器体験コーナーも賑わいを見せ、子どもたちがバンドメンバーから打楽器の叩き方を教わる姿もあった。ステージはもちろん、音楽を身近に感じられるイベントとして定着している。



次世代へ伝える伝統芸能

日本が誇る伝統芸能を身近に感じてもらい、その魅力を若い世代に伝えていくことを目指し、デジタルツールやトークイベント、学校での事前レクチャーなど様々な工夫を凝らした事業を展開した。

●グランシップ静岡能

2025/1/26(日) 中ホール・大地 550人 山階彌右衛門、観世流能楽師 他

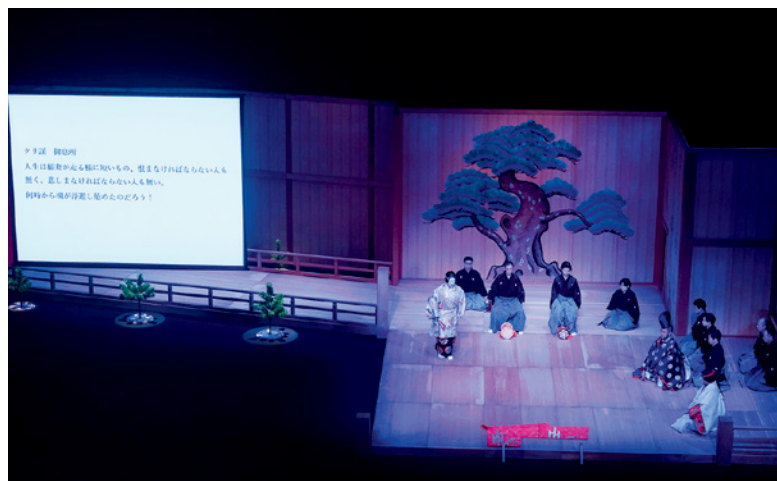
新年に本格的な能を楽しめる「グランシップ静岡能」。2024年大河ドラマで改めて注目を集めた『源氏物語』に焦点をあて、能「源氏供養」のほか、狂言「文荷」を上演した。今回は留学生、聴覚障がいのある方など、より多くの方に伝統芸能を楽しんでもらうために、上演の状況に合わせて詞章や解説をタブレットやスマートフォンで見ることができる多言語字幕サービス「能サポ」を初導入。あわせて、聴覚障がいのある方の来場を想定して、静岡県聴覚障害者情報センターの助言を受けながら音声に頼らない館内アナウンスとして「照明案内」を実施。公演の内容だけではなく、誰もが気軽に伝統芸能を楽しめる体制・サポートサービスの拡充・向上を目指した。



●グランシップ静岡能 能楽入門公演

9/14(土) 中ホール・大地 716人 山階彌右衛門、観世流能楽師 他

能楽に初めて触れる人も気軽に鑑賞できる公演として、毎年好評の「能楽入門公演」。第一部では能楽の解説のほか、能楽師の指導のもと約3か月間に渡り稽古に励んだ子どもたちによる成果として連吟・仕舞を披露。第二部は2024年の大河ドラマ『光る君へ』にあわせて、『源氏物語』を題材とした演目「葵上」を上演。全国的にも珍しい、演技の途中で解説が入る「ダイジェスト能」形式で上演した。来場者から「能を身近に感じることができた」「若い方もたくさん来ていて、幅広い年代が参加しやすい企画でした」といった好意的な感想が寄せられた。さらに今回は、SBSラジオと連携した上演後のトークイベント「DJ Roniと行く! はじめての伝統芸能」を実施。観世流能楽師の山階彌右衛門とDJ Roniによる軽妙なトークと交流を通して、多くの方に伝統芸能に親しむを持てもらうことができた。



●人形浄瑠璃 文楽 (2公演)

10/12(土) 中ホール・大地 892人

グランシップでは県内で唯一「人形浄瑠璃 文楽」を毎年開催している。文楽技芸員によるあらすじ解説や字幕表示、文楽人形によるお出迎え等、初めての方でも楽しめる取組を継続するほか、今回は、夕の部限定企画として「SPAC俳優 たきいみきさんと一緒に文楽を見に行こう!」を実施。文楽を愛好するたきいみきとグランシップ館長・宮城聡によるプレトークでは、両氏ならではの視点から文楽の魅力が語られ、演劇ファンが文楽に興味を持つきっかけを作った。



●グランシップ寄席～入船亭扇遊・三遊亭兼好～

2025/2/15(土) 6階交流ホール 277人
入船亭扇遊、三遊亭兼好



完売御礼となった会場には、この日を待ちわびた多くの落語ファンが集結。三遊亭けろよんの開口一番に始まり、三遊亭兼好が明るく華やかな高座で客席を魅了した。熱海市出身の入船亭扇遊は名作「井戸の茶碗」を披露し、客席は情緒あふれる江戸落語の世界へと深く引き込まれた。

●国立劇場 歌舞伎鑑賞教室 (2公演)

6/26(水) 中ホール・大地 1,691人 中村鴈治郎、市川高麗蔵 他

グランシップでは、日本の伝統芸能である歌舞伎を次世代へ継承するべく、例年、中学生・高校生を対象とした鑑賞事業を実施している。前半は歌舞伎俳優が登場し、歌舞伎の魅力や演目のあらすじをユーモアを交えながらわかりやすく解説し、後半では名作「封印切」を上演した。また、本公演に先立ち、県内3つの中学校で国立劇場職員による事前レクチャーも実施。歌舞伎の基礎知識や演目について学ぶことで、生徒は鑑賞への理解を深めることができた。当財団による交通費支援制度を活用し、遠隔地からも多くの生徒が来場。県内各地の多くの中高生に歌舞伎鑑賞の機会を提供した。



多様性と伝統と、地域で育むアート作品

誰もが表現の喜びを感じられる場としての展覧会や、地域の風土が育んだ伝統工芸を用いた大学生との協働など、この地で暮らす多様な人々が参画した作品展示を行い、来館者に新しい魅力を伝えた。

● グランシップ 誰もがWonderfulアート

9/20(金)～10/6(日) 6階展示ギャラリー 3,430人

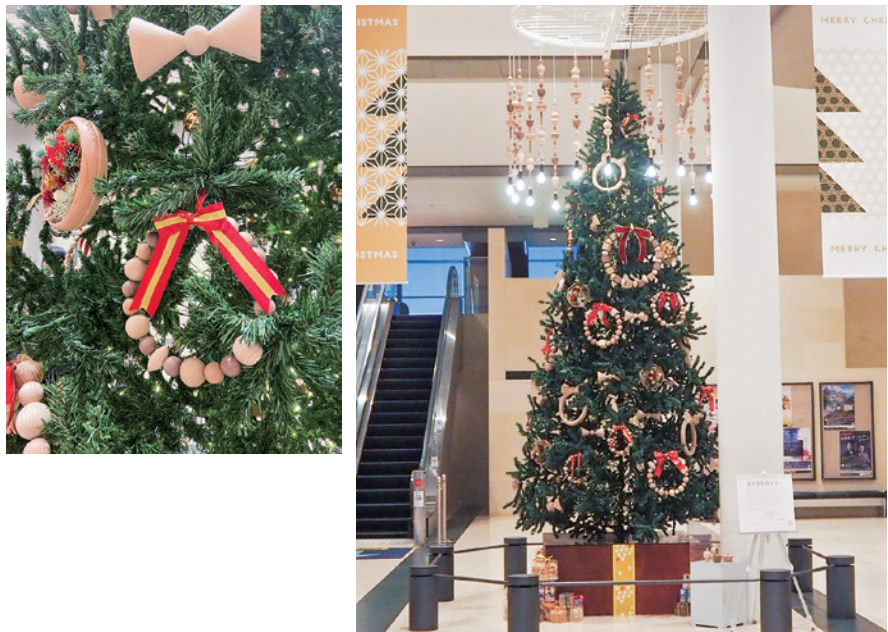
障がいの有無や個人を取り巻く社会的状況等にかかわらず、多様な人々が参画する展覧会を開催することで、表現や個性を認め合う多様性のある社会を考える機会を目指す「誰もがWonderfulアート」。今回は難病を抱えながら創作を続ける美術家・鈴木まさこの「生命のざわめき」と、「つくるよろこびあわすちから-静岡県内の特別支援学校児童・生徒による作品展-」の2つの展示で構成した。来場者からは、「特別支援学校の子どもたちのカラフルで素晴らしい作品とプロのアーティストの絵が相乗効果をおこしていた」「広いフロアにとってもダイナミックな展示が素晴らしく、特別支援学校の子どもたちの表現力、観察力が見られてよかった」といった声が寄せられた。



● 静岡大学との協働によるクリスマスツリー制作

11/11(月)～12/25(水) 1階エントランス

静岡大学教育学部川原崎デザイン研究室と協働で、静岡の伝統工芸を活用したクリスマスツリーをグランシップオリジナルで制作。前回の駿河竹千筋細工に続き、静岡挽物の技術を生かし、静岡市清水区で木工挽物業を営む岸本挽物の協力を得てリースやシャンデリア状の装飾を施した。木のぬくもりを感じられるあたたかなツリーは、静岡の伝統工芸の新たな魅力を伝え、クリスマスシーズンのグランシップを華やかに彩った。子どもから大人まで来館者の多くが笑顔で写真を撮る様子が見られた。



文化を支える人を育てる

誰もが文化芸術を体験しやすくなる環境づくりを進めるため、静岡県ゆかりのアーティストと協働でのアウトリーチ活動や、県内公立文化施設の職員を対象とした、知識の研鑽・交流をはかる研修を行った。また、学生には、体験を通してより実践的な学びが得られるインターンシップ制度を用意した。

● 「グランシップ登録アーティスト」事業(人材育成)

オーディションで選ばれた静岡県出身、在住等の地域ゆかりの音楽家が、半年間にわたる研修プログラムを受け、3年間の任期で登録。県内小学校・特別支援学校等でのアウトリーチやグランシップ主催公演に関連したコンサートで活躍している。2024年度は第2期(2024-2026年度登録)3組が始動し、第1期(2022-2024年度登録)4組がグランシップ登録アーティストとしての活動を終了した。また、これまでにグランシップ登録アーティストとして活動した音楽家を紹介する「グランシップ静岡ゆかりのアーティスト紹介BOOK」を作成し、県内公立文化施設や福祉施設、地域交流センター等に配布した。県内各地でアーティストの活躍の場が増え、地域の人々が音楽に親しむことができるよう、グランシップが橋渡し役を担っている。



第2期登録アーティストによるロビーコンサート

第1期登録アーティスト「羽ばたき卒業コンサート」フィナーレでの合同演奏



● 静岡県公立文化施設職員等に向けた人材養成事業 地域×アート マネジメントセミナー



静岡県公立文化施設協議会の会長館として、県内の公立文化施設の活性化を目指し、2010年度より継続している人材養成事業を、より希望者が参加しやすい形で更なる企画力・制作力向上を図る実務研修として、リニューアル。入門コースと、実践コースの2コースを用意し、経験年数に合わせた知識や情報の獲得と、参加者同士の横の繋がりを深めた。

日程	講座	講師
7/18(木)【両コース共通回】	多文化共生社会に向けて「アートを活かしたはじめての一步!」	関 鎮京(北海道教育大学准教授) 仲村悠希(愛知県芸術劇場(公財)愛知県文化振興事業団)プロデューサー)
8/22(木) 入門コース①	午前:公立ホールをとりまく法律・制度 午後:制作実務	中尾友彰(昭和音楽大学准教授(アートマネジメントコース)) 品川佳代(安城市中心市街地拠点施設アンフォーレ コーディネーター)
9/24(火) 入門コース②	午前:広報① 午後:貸館運営	小出充訓(愛知県芸術劇場(公財)愛知県文化振興事業団 企画制作グループシニアマネージャー) 生田隆明((公財)三重県文化振興事業団 三重県総合文化センター 施設利用サービスセンター施設運営課 課長)
8/29(木)延期→10/4(金) ※大雨の影響により延期 実践コース①	音楽事業の企画制作	佐々木玲子((公財)福井県文化振興事業団 事業部長)
9/27(金) 実践コース②	ホールの改修工事	浅野芳夫(愛知県芸術劇場(公財)愛知県文化振興事業団 支配人(兼劇場運営部長))

※講師等の所属は講座実施時のもの

セミナーアドバイザー:林健次郎(愛知県芸術劇場(公財)愛知県文化振興事業団 企画制作部参事(広報))

● インターンシップ

財団運営や企画事業制作、貸館営業促進、アーツカウンシル事業など、静岡県文化財団が担う業務を幅広く知る研修を、6～9月にかけて14日間実施。県内外の大学生を中心に10人が参加し、座学から実地研修まで様々な経験を通し、将来への選択肢を広げるきっかけとなった。また、1月に文化事業課、2月に総務課の短期インターンシップを実施し、延べ9人が参加した。



令和6年度 主催事業（企画事業）

戦略 目標	事業 形態	日 程	催 事 名	出 演 者 ・ 内 容 等	会場 財団・静岡県以外主催・共催等
子ども、 子育て	鑑賞	7/28(日)	【共催】 空と海のコンサート ～神奈川フィルオーケストラ・キャラバン静岡公演～	指揮：田中祐子、テノール小堀勇介、司会(ナレーター)：竹平晃子、 管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団 曲目：プロコフィエフ/交響的物語「ピーターと狼」Op.67、 メンデルスゾーン/序曲「静かな海と楽しい航海」Op.27 他	中ホール・大地 主催：(公社)日本オーケストラ連盟 (公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団 共催：(公財)静岡県文化財団
子ども、 子育て	鑑賞	8/2(金)～4(日)	グランシップ世界のこども音楽劇場2024	出演：演目：鼓童(日本)「につぼんこども劇場～和太鼓わんだーらんど～」、 マダム・パッサ(デンマーク)「あなたはここ～YOU ARE HERE～」、 東京藝術大学、東京藝術大学共生社会をつくるアートコミュニケーション 共創拠点(日本)「音と光の動物園」	大ホール・海 交流ホール 中ホール・大地
子ども、 子育て	鑑賞	11/23(土・祝) 1/19(日)	グランシップ冬のおくりもの2024-2025 キノイグルーの不思議の国のえいがかん	映画セレクト・解説：キノイグルー ライブペインティング：近藤康平 会場案内：あまる&ひっさい 上映作品：やまし村の春夏秋冬より「冬」、こどもの形而上学、イヌとホネ 他	交流ホール 大ホール・海
子ども、 子育て	教育 普及	6/26(水)	国立劇場 歌舞伎鑑賞教室(2公演)	出演：中村雁治郎、市川高麗蔵 他 演目：解説「歌舞伎のみかた」、「恋飛脚大和往来一封印切ー」	中ホール・大地
子ども、 子育て	教育 普及	11/15(金)	【出前公演】 中高生のためのオーケストラ	指揮：アンドレア・パツティストーニ 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 曲目：グリンカ/歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲、ベートーヴェン/交響曲第7番	磐田市民文化会館「かたりあ」 主催：(公財)静岡県文化財団、 磐田文化振興会、静岡県、磐田市
子ども、 子育て	教育 普及	2/2(日)	ウィーンの風～ウィーン・アンサンブルVIMCA	出演：バヴェル・クツミシェフ、シーラ・エプシュタイン（ヴァイオリン）、 グンター・グレッセル（ヴィオラ）、ヴォルフガング・ヘルテル（チェロ）、 マティアス・シュルツ（フルート）、クリストフ・ツィムパー（クラリネット） 共演：静岡県立清水南高等学校同中部管弦楽部、 静岡県立清水南高等学校芸術科音楽専攻 音楽ナビゲーター：岡部武彦 曲目：J.シュトラウス2世/ポルカ「観光列車」、「南国のバラ」 他	中ホール・大地
子ども、 子育て	教育 普及	6月～1月	【グランシップ子どもアート体験!】 登録アーティストアウトリーチ	グランシップ登録アーティスト第1期4組、第2期3組による アウトリーチミニコンサート ※実施詳細は6、7ページに掲載	県内小学校・特別支援学校 11校
子ども、 子育て	教育 普及	5/29(水) 10/22(火)	【グランシップ子どもアート体験!】 人形浄瑠璃文楽出前講座(2校)	講師：人形浄瑠璃文楽座 実演：「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」	河城小学校(菊川市) 御殿場小学校(御殿場市)
子ども、 子育て	教育 普及	10/1(火) 11/7(木)	【グランシップ子どもアート体験!】 六代目宝井馬琴監修講談教室(2校)	講師：宝井琴星(講談師)、宝井琴鶴(講談師) 実演：「塚原伝と宮本武蔵 鍋蓋試合」、「村越茂助 左七文字の由来」	初倉小学校(島田市) 東小学校(函南町)
子ども、 子育て	教育 普及	9/6(金) 11/22(金)	【グランシップ子どもアート体験!】 玉川奈々福の浪曲教室(2校)	講師：玉川奈々福(浪曲師)、沢村まみ(曲師) 実演：「浪曲シンデレラ」	南中学校(南伊豆町) 石雲院(牧之原市) ※牧之原市立坂部小の 学校行事として実施
子ども、 子育て	教育 普及	11/26(火)	【グランシップ子どもアート体験!】 狂言ワークショップ	講師：三宅右矩、高澤祐介、前田晃一(狂言方と泉流能楽師) 実演：「棒縛」	袋井南小学校(袋井市)
子ども、 子育て	教育 普及	5/28(火)	伝統芸能普及プログラム<大学連携> 文楽レクチャー	講師：人形浄瑠璃文楽座 実演：「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」	中ホール・大地
子ども、 子育て	教育 普及	11/22(金)	伝統芸能普及プログラム<大学連携> 浪曲レクチャー	講師：玉川奈々福(浪曲師)、沢村まみ(曲師) 実演：「鈴木久三郎 鯉の御意見」	映像ホール
子ども、 子育て	教育 普及	10/1(火)	伝統芸能普及プログラム<大学連携> 講談レクチャー	講師：宝井琴鶴(講談師) 実演：「那須与一 扇の的」、「あんぱんを食べた次郎長」	映像ホール
子ども、 子育て	教育 普及	5/14(火)	伝統芸能普及プログラム<大学連携> 歌舞伎レクチャー	講師：国立劇場制作部歌舞伎課 職員	映像ホール
子ども、 子育て	教育 普及	5/14(火)、24(金) 6/13(木)	伝統芸能普及プログラム<教育普及> 歌舞伎レクチャー	「国立劇場歌舞伎鑑賞教室」を鑑賞する学校を対象にした国立劇場職員による歌舞伎レクチャー 講師：国立劇場制作部歌舞伎課 職員	城南静岡中学校(静岡市) 浅羽中学校(袋井市) 原中学校(沼津市)
子ども、 子育て	教育 普及	10/13(日)	詩人と語ろう!言葉語ろう!	「しずおか連詩の会」に連動した、県内高校文芸部で活動する高校生と 詩人が交流して連詩を創作するワークショップ 講師：野村喜和夫(詩人) 参加：静岡県立清水東高等学校、清水南高等学校文芸部	グランシップ会議室
子ども、 子育て	教育 普及	10/3(木)	【グランシップ子どもアート体験!】 貼り絵ワークショップ	特別支援学校で学ぶ生徒一人一人の表現・魅力を引き出す貼り絵の ワークショップ 講師：福井場	東部特別支援学校伊東分校
子ども、 子育て	県民 参加	5/3(金・祝)～ 5(日・祝)	グランシップスプリング・フェスティバル 「グランシップこどものくに～ばくばく!もぐもぐ!～」	未就学児を中心に造形体験や遊びを通じて、ゴールデンウィークに家族で 楽しめるイベント。「グランシップ スプリングフェスティバル」として、 「しずおか食彩フェスティバル」と同時開催。	展示ギャラリー、 交流ホール 他
子ども、 子育て	県民 参加	5/18(土)、19(日)	グランシップトレインフェスタ2024	鉄道模型コーナーや駅弁販売等、鉄道ファンから親子連れまで、 家族で楽しめる日本最大級の鉄道イベント	大ホール・海
子ども、 子育て	県民 参加	予選6/22(土)、23(日) 本選8/17(土)	【共催】 静岡県学生音楽コンクール	静岡県内のクラシック音楽を志す児童生徒を対象とした音楽コンクール。 弦楽、管楽、声楽、ピアノ4部門で実施	中ホール・大地 主催：NPO法人静岡県音楽コンクール委員会
音楽 文化等	鑑賞	6/1(土)	広上淳一指揮 NHK交響楽団 チェロ：上野通明	指揮：広上淳一 チェロ：上野通明 管弦楽：NHK交響楽団 曲目：ドヴォルザーク/チェロ協奏曲短調作品104、 リムスキー＝コルサコフ/交響組曲「シェエラザード」作品35	中ホール・大地
音楽 文化等	鑑賞	6/29(土)、30(日)	Medicine メディスン	イギリスの劇作家エンダー・ウォルシュ最新作の日本初演 翻訳：小宮山智津子、演出：白井晃、出演：田中圭、奈緒、富山えり子、荒井康太 企画制作：世田谷パブリックシアター	中ホール・大地
音楽 文化等	鑑賞	7/14(日)	Banksia Trio(バンクシアトリオ) ゲスト：アン・サリー	出演：Banksia Trio(須川崇志(ベース)、林正樹(ピアノ)、石若駿(ドラム))、 アン・サリー(ヴォーカル) 曲目：MASKS、Nigella、April fools、Over the rainbow、あの河のほとりで	中ホール・大地
音楽 文化等	鑑賞	9/19(木)	上野耕平・三浦一馬 デュオ・コンサート featuring高橋優介	サクソフォン：上野耕平 バンドネオン：三浦一馬 ピアノ：高橋優介 曲目：ミヨー/スカラムーシュ、リスト/スベイン狂詩曲、ピアノソナ/フーガと神秘、 プエノスアイレスの冬、鮫 他	中ホール・大地
音楽 文化等	鑑賞	11/4(月・休)	マルティン・ガルシア・ガルシア ピアノリサイタル	ピアノ：マルティン・ガルシア・ガルシア 曲目：F.ショパン/ポロネーズ 第7番 変イ長調 Op.61 「幻想ポロネーズ」、 幻想即興曲 嬰ハ短調 Op.66、ソナタ 第1番 ハ短調 Op.4 他	中ホール・大地

戦略 目標	事業 形態	日 程	催 事 名	出 演 者 ・ 内 容 等	会場 財団・静岡県以外主催・共催等
音楽 文化等	鑑賞	11/16(土)	【出前公演】 東京フィルハーモニー交響楽団 名曲コンサート	指揮：アンドレア・パツティストーニ ピアノ：仲道郁代 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 曲目：グリンカ/歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲、 ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第5番「皇帝」、交響曲第7番	磐田市民文化会館「かたりあ」 主催：(公財)静岡県文化財団、 磐田文化振興会、静岡県、磐田市
音楽 文化等	鑑賞	12/4(水)	伊藤ゴロー+ジャキス&パウラ・モレレン・パウム ～Tribute to Ryuichi Sakamoto～	出演：伊藤ゴロー(ギター、編曲)、ジャキス・モレレン・パウム(チェロ)、 パウラ・モレレン・パウム(ヴォーカル)、佐藤浩一(ピアノ)、 小川慶太(ドラムス、パーカッション)、角銅真実(パーカッション)、 伊藤彩(ヴァイオリン)、坂本美雨(ヴォーカル) 曲目：AS PRAIAS DESERTAS、ONGAKU、in aquascape、 Merry Christmas Mr.Laurence 他	中ホール・大地
音楽 文化等	鑑賞	12/14(土)	GAME MUSIC on BRASS in グランシップ ～吹奏楽で楽しむ名作ゲーム音楽～	吹奏楽：BRASS EXCEED TOKYO 指揮：大滝実 ミュージックナビゲーター：武藤啓太 曲目：ドラゴンクエストIより序曲、クロノトリガーメドレー、 FINAL FANTASYシリーズよりSelect de chocobo 他	大ホール・海
音楽 文化等	鑑賞	12/20(金)	グランシップ・プレミアム・クリスマス・ジャズライブ 小曽根真&アンドレ・メマーリ	ピアノ：小曽根真、アンドレ・メマーリ 曲目：アンドレ・メマーリ／Briha o Carnaval、Koto Bossa、 小曽根真／Something's Happening、Pandora	中ホール・大地
音楽 文化等	鑑賞	1/10(金)	静岡ガスPresents グランシップ&静響 ニューイヤーコンサート (2公演)	指揮：山下一史 ピアノ：中川優芽花 管弦楽：富士山静岡交響楽団 曲目：ガスギャロップ、ショパン/ピアノ協奏曲第1番ホ短調op.11、 J.シュトラウス2世/ワルツ「美しく青きドナウ」 他	中ホール・大地 主催：(公財)富士山静岡交響楽団 共催：(公財)静岡県文化財団
音楽 文化等	鑑賞	2/9(日)	【共催】 marasy Piano Live Asia Tour 2025	出演：まらしい(ピアノ) 曲目：青く駆けろ、千本桜、ライラック、ちよっとつよいカノン、 ナイトオブナイツ(メドレー) 他	中ホール・大地 企画/制作：Suboul-rise Record / World apart ltd.
音楽 文化等	鑑賞	2/23(日・祝)	静岡JAM2025	出演：ADAM at (キーボード)、TRI4TH(伊藤隆郎(ドラムス)、織田祐亮(トランペット)、 藤田淳之介(サクソフォン)、竹内大輔(ピアノ)、関谷友貴(ベース))、 fox capture plan(岸本亮(ピアノ)、カワイビデオ(ベース)、井上明(ドラムス)) 曲目：We are Confidence Man、疾走する閃光、君想ふ故に、僕にり、六三四、Silent Hill 他	大ホール・海
音楽 文化等	鑑賞	3/1(土)	宮田大×福岡洵太郎 デュオ・コンサート	出演：宮田大(チェロ)、福岡洵太郎(ピアノ) 曲目：ベートーヴェン/チェロ・ソナタ第2番ト短調Op.5-2、 ショパン/華麗なる変奏曲変ロ長調Op.12 他	中ホール・大地
音楽 文化等	教育 普及	4/13(土)	マエストロ・広上淳一のおしゃべりクラシック	6/1開催の「広上淳一指揮NHK響曲楽団」の聴きどころや クラシック音楽の魅力を分かりやすく解説するレクチャー 出演：広上淳一(指揮者)、坂元勇仁(レコーディングディレクター)	リハーサル室
音楽 文化等	県民 参加	8/11(日・祝)	グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル2024	出演：沼津燦々ジャズオーケストラ、ハニーウエストジャズオーケストラ、 The Forest Gamp Jazz Workers、浜松リハーサル・ジャズ・オーケストラ、 Vanguard Jazz Workshop、静岡大学スタンダード・ハーモニー・ジャズ・オーケストラ、 Red Spicy Big Band、浜松スイングバンド、ファンキーキャッツジャズオーケストラ、 ザ・スイング・ハード・オーケストラ、TAKE HEART BEAT Big Band Jazz Orchestra、 スパイラルステップス、スーパー・プラス・オーケストラ、ジャズ・リパース・オーケストラ、 佐藤ひびき(ヴォーカル)	大ホール・海
音楽 文化等	県民 参加	6/8(土)	【提携公演】 静岡県オペラ協会創立55周年記念公演オペラ 「コジ・ファン・トゥッテ」	県内文化活動団体への活動の場の提供として実施した提携公演 出演：小島岳志(指揮)、横山靖代、佐藤典子、県民による祝祭合唱団、 祝祭管弦楽団 他	中ホール・大地 主催：静岡県オペラ協会
音楽 文化等	県民 参加	1/12(日)	【提携公演】 南仏の風に乗せて～テオ・ダ・セヴラックの世界 ～深尾由美子ピアノコンサート～	県内文化活動団体への活動の場の提供として実施した提携公演 出演：深尾由美子(ピアノ) 特別ゲスト：館野泉(お話：ピアノ) 曲目：セヴラック/組曲セルダーニャより第1曲「二輪馬車」 他	中ホール・大地 主催：一般社団法人シナリオ
伝統 芸能	鑑賞	10/12(土)	人形浄瑠璃 文楽(2公演)	出演：豊竹若太夫、竹本鍛太夫、竹本千歳太夫、鶴澤清治、桐竹勘十郎 他 演目：昼の部/「二人三番叟」、「絵本太功記」～夕顔餅の段～厄ヶ崎の段 夕の部/近頃河原の逢り～四条河原の段～堀川猿廻しの段	中ホール・大地
伝統 芸能	鑑賞	1/26(日)	グランシップ静岡能	出演：山階彌右衛門、観世三郎太、三宅右矩 他 演目：仕舞「高砂」、舞囃子「小袖曽我」、狂言「文荷」、能「源氏供養」 他	中ホール・大地
伝統 芸能	鑑賞	2/15(土)	グランシップ寄席～入船亭扇遊・三遊亭兼好～	出演：演目：入船亭扇遊「厩火事」、「井戸の茶碗」、三遊亭兼好「壺算」「雛鰯」、 三遊亭けろん「子ほめ」	交流ホール
伝統 芸能	教育 普及	9/14(土)	グランシップ静岡能 能楽入門公演	出演：山階彌右衛門、関根祥丸、能楽お稽古生 他 演目：仕舞「玉鬘」、能「葵上」 他	中ホール・大地
文芸・ 美術	鑑賞	11/3(日・祝)	2024年しずおか連詩の会	本県出身の詩人・大岡信が提唱した連詩の創作と発表 創作：10月31(日)～11月2(日) 出演：野村喜和夫、巻上公一、広瀬大志、佐藤文香、柴田聡子 作品名：「喉歌の舞の地で」の巻	会議ホール・風
文芸・ 美術	県民 参加	9/20(金)～ 10/6(日)	グランシップ誰もがWonderfulアート	表現や個性を認め合うことを目的とした展覧会 静岡市在住のアーティスト・鈴木まさこの作品と静岡県内特別支援学校の 生徒・児童による作品を展示	展示ギャラリー
文芸・ 美術	県民 参加	2/16(日)	【共催】 ふじのくに芸術祭春の祭典 「授賞式」「総合開会式」	ふじのくに芸術祭のメインイベントである春の祭典 2024年授賞式と2025年開会式	中ホール・大地

文化資源の観光活用推進事業

日 程	催 事 名	出 演 者 ・ 内 容 等	会場 財団・静岡県以外主催・共催等
5/3(金・祝)～ 5(日・祝)	グランシップスプリングフェスティバル グランシップ「しずおか食彩フェスティバル」	大人からこどもまで静岡県の「食」の魅力を体験できるイベント。 「グランシップスプリングフェスティバル」として「グランシップこどものくに」と同時開催。	大ホール、芝生広場

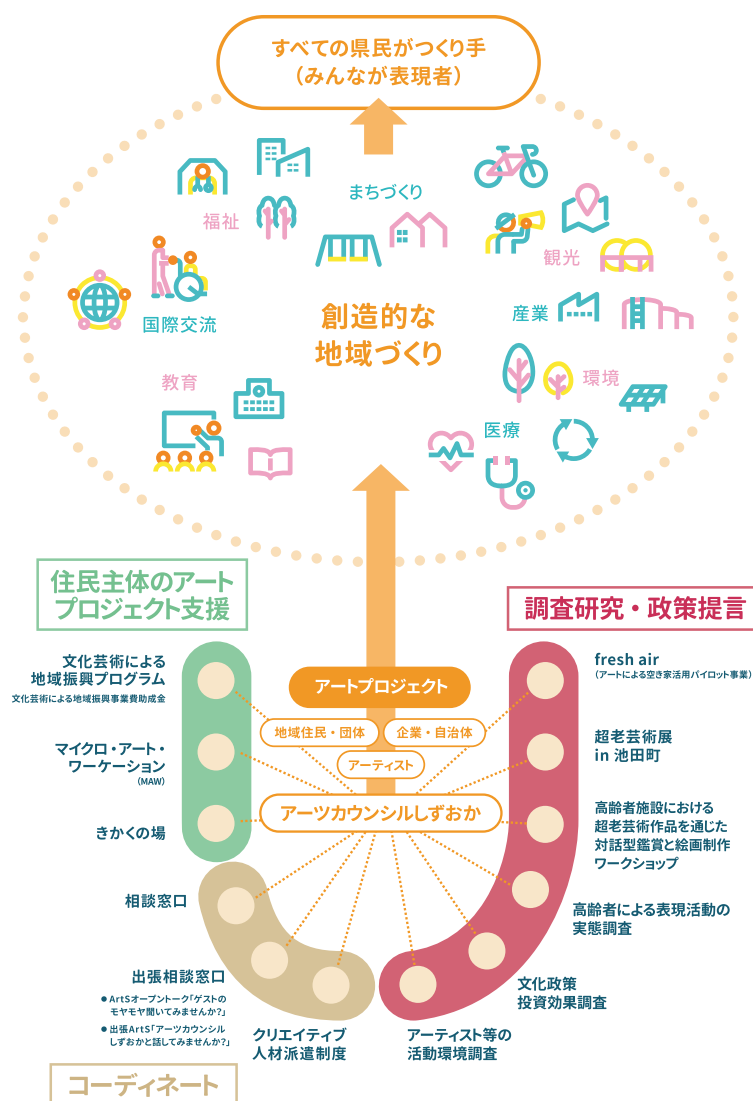
「みんなが表現者」創造的な地域づくりをめざして

アーツカウンシルしずおかは、文化芸術が人々の創造性を引き出し、まちづくりや観光、福祉、教育、環境、産業など様々な分野の課題解決や資源活用の糸口となり、地域社会が活性化することを目標としている。

本格稼働4年目となる2024年度は、地域の様々な場面におけるイノベーションの創出に寄与することを念頭に、「住民主体のアートプロジェクト※支援」「コーディネート」「調査研究・政策提言」を3つの柱として各事業を展開。県内各地におけるアートプロジェクト同士の交流や連携を促し、プロジェクト間ネットワークの確立を進めた。さらに複数の調査研究を実施し、専門的な知見を活かして静岡県総合計画審議会や静岡県文化政策審議会に委員として参画するほか、政策に対する助言などを行った。

※アートプロジェクトとは、地域社会の人々が共同で、社会の様々な事象と関わりながら展開する文化芸術活動のこと。多様な人々による協働のプロセスを重視し、その成果が地域や社会に還元される研究開発のように、いろいろな分野とアートが連携して取り組むものを指す。

2024年度(令和6年度)アーツカウンシルしずおか事業概要



2024年度「文化芸術による地域振興プログラム」実施団体による成果報告会

実施事業

1 文化芸術による地域振興プログラム

創造的な地域づくりに向けて、社会の様々な分野の担い手による地域資源の活用や社会課題に対応した創造的な取組であるアートプロジェクトに対し、助成を行った。経費の一部を助成するだけでなく、当財団のプログラム・ディレクター、コーディネーターが個別のニーズに応じた助言等の支援を行った。

制度内容および交付決定

助成金の区分	対象	助成金額上限	補助率上限	応募件数	交付決定件数
地域クリエイティブ支援	先駆的取組を行うプログラム	5,000千円	助成対象経費の4分の3以内 又は2分の1以内	57件	16件
地域はじまり支援	先駆的事業の実施に向けて 試行的に取り組むもの	300千円	助成算定経費の 10分の10	51件	13件

また、東アジア文化都市2023静岡県のレガシーとして、将来的に「地域クリエイティブ支援」「地域はじまり支援」につながらし得る事業に対して、2024年度限定で2つの助成メニューを追加実施した。

助成金の区分	助成金額上限	補助率上限	応募件数	交付決定件数
文化芸術専門協働事業	5,000千円	助成対象経費の4分の3以内又は2分の1以内	18件	14件
文化芸術活動広報支援	300千円	助成算定経費の10分の10	15件	12件

2 マイクロ・アート・ワーケーション(MAW)

住民とクリエイティブ人材(アーティスト等)が出会うきっかけをつくり、地域の魅力発信や、関係人口の増加、住民主体のアートプロジェクトの創出などに寄与するとともに、クリエイティブ人材の創作活動に活かしてもらうことを目的にワーケーションを促進する取組。これまで本事業を実施してきた地域からは、ホスト団体とクリエイティブ人材によるイベントが自主的に開催され、2025年度「文化芸術による地域振興プログラム」への応募が見られるなど、新たなアートプロジェクトの動きが出ている。

区分	受入団体(ホスト)	クリエイティブ人材(旅人)
対象	県内に拠点を置く様々な分野の団体	クリエイティブ人材 (アーティストやクリエイター、ディレクター等)
募集期間	4/8(月)~5/1(水)	5/13(月)~6/10(月)
実施期間	8/1(木)~11/10(日)の間で、原則6泊7日	
応募数	19団体	119人(27都府県)
実施数	13団体	37人(16都府県)

3 アートによる空き家活用パイロット事業「fresh air」

空き家対策関連事業者に対し、クリエイティブ人材の視点がもたらす効果を訴求することを目指して、空き家活用事業者とクリエイティブ人材をマッチングし、空き家活用のモデルプログラムを実施した。

実施地域	空き家活用事業者	クリエイティブ人材
三島市内	株式会社シタテ	清水 玲(美術家) / 香川県出身、神奈川県在住

また、アートによる空き家活用を手掛けてきた事業者を集め、これまでの取組を集約し、地域に対する影響や効果など複数の観点からその効果を分析するワーキングを実施した。

4 クリエイティブ人材派遣制度の運用

文化以外の分野とアーティスト等との連携促進と、連携による創造性の触発を目的とし、県内の企業、行政組織等を主とした団体や組織に対してクリエイティブ人材を派遣する制度を運用した。

派遣先	人数	派遣期間	クリエイティブ人材の関わり
irodoriプロジェクト (浜松市)	1人	2024年7月 ～10月	地元の企業と障害のある人たちを結びつける事業の方向性を整理するため、職員研修にクリエイティブ人材を派遣した。
静岡県中部地域局	3人	2024年11月 ～2025年2月	サウナツーリズムを推進するための検討会議にクリエイティブ人材を講師として派遣。また、アーティストによる地域リサーチも実施した。
株式会社リビングディー 第一建設(富士宮市)	1人	2025年2月 ～3月	富士宮の新たな観光資源の開発に向け地域住民と共創するプロジェクトを実施した。

5 超老芸術

●超老芸術展in池田町

信州アーツカウンシルとの共同企画により、2024年7月6日(土)～8月25日(日)の会期にて、長野県北安曇郡池田町にある北アルプス展望美術館(池田町立美術館)で7組の高齢者たちを紹介する展覧会を開催した。

●超老芸術作品を通じた対話型鑑賞と絵画制作ワークショップ

開催:2025/1月～2月
受託者:
NPO法人レザミ・デ・ザール(沼津市)
つくり手:本田照男(沼津市)

「超老芸術」の発展形として、県内3か所の高齢者施設において超老芸術の作品を題材とした対話型鑑賞や超老芸術のつくり手による絵画制作ワークショップを行うモデルプログラムを実施。超老芸術の活用や高齢者の表現活動の可能性について検証した。



6 きかくの場(講座の開催)

アートプロジェクトの担い手の発掘・育成のための実践型講座を開催。静岡県内各地でアートプロジェクトを実践している3名の「住民プロデューサー」のもとを訪れ、「地域を巻き込むため」「仲間づくりのため」「継続していくため」のアートプロジェクトの手法を探った。

※講師:小川希(Art Center Ongoing代表)

開催日	会場／ゲスト	参加者数
7/21(日)	Atelier&Guest houseヌクリハウス(島田市川根町) 児玉 絵美 (UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川)	11人
10/6(日)	ワーカーズリビング三島クロケット(三島市本町) 山森 達也 (三島満願芸術祭)	9人
12/15(日)	たけし文化センター連尺町 (浜松市中区連尺町) 水越 雅人 (認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ)	8人

7 「アーツカウンシル・ネットワークミーティング」の開催

開催日:9/30(月)
会場:グランシップ6階交流ホール
参加者数:61人

「令和6年度第2回アーツカウンシル・ネットワークミーティング」(主催:日本芸術文化振興会)を招致し、ホストとして、全国の加盟団体及び地域アーツカウンシルの設置を検討中の自治体・団体関係者を迎えた。アーツカウンシルしずおかに関する情報発信及び分科会形式によるネットワークの役割について議論・発表を行った。

8 「TECH BEAT Shizuoka 2024」への出展

静岡県内の事業者と首都圏をはじめとするスタートアップ企業との出会いを創出する「TECH BEAT Shizuoka」(7月25日(木)～27日(土))にて、トークセッションに参加。また、展示ブースにおいては、地域振興プログラム実施団体3組によるアートプロジェクトの紹介と、クリエイティブ人材派遣制度の周知を実施した。また、11月に開催されたフォローアップイベントにおいては、ゲストとしてトークセッションに登壇するとともにアート思考のワークショップを実施。企業からの参加者に向けて、スタートアップを生み出す際のアートの有効性を体験する機会を提供した。

9 相談窓口の運営

専門スタッフが随時相談に応じたほか、弁護士や税理士、中小企業診断士が、文化芸術活動をサポートする相談窓口を運営した。文化芸術分野をはじめ幅広い見識をもつ平野雅彦特別相談員による相談会も原則、毎月開催した。より多くの方にアーツカウンシルしずおかや相談窓口を周知するため、県内各地で、その地域で活動する団体と連携して“オープントーク「ゲストの『モヤモヤ』聞いてみませんか?」(牧之原市、静岡市、掛川市)”や、“出張ArtS「アーツカウンシルしずおかと話してみませんか?」(下田市、小山町)”を開催した。

【2024年度 相談件数:120件】



10 調査研究

●文化政策投資効果調査

静岡県内の文化活動の実態を把握し、静岡県の文化芸術への投資が達成してきた成果を確認すると同時に課題を抽出し、調査研究を実施。静岡県立美術館、(公財)静岡県舞台芸術センター(SPAC)及び当財団(グランシップ)を対象として、これまでに実施された文化芸術事業に関して職員からエピソードの聞き取りを行った。

●高齢者による表現活動実態調査

県内の高齢者が表現活動にどの程度取り組んでいるのかを把握し、それが高齢者自身の生きがい等にどのように結びついているのかを目的としたアンケート調査を実施した。

アンケート対象	回答数
アクティブシニア	1,053名
高齢者施設利用者	380名

●アーティスト等の活動環境調査

県内に拠点を置くアーティスト等を対象としたアンケートおよびヒアリングを通じて、現在の活動状況や活動を維持する上でのニーズを把握するとともに、アートプロジェクトに対する関心度についての調査を実施した。

実施期間	2025/2/21(金)～3/24(月)
アンケート対象者	静岡県内に拠点を置くアーティスト等
回答者数	484名

2024年度事業の詳しい実施状況は
【アーツカウンシルしずおかアニュアルレポート2024】を参照



グランシップの施設利用

静岡県の産業および文化の発信のため、様々な催事活動の場を整え、その振興を支援した。趣味活動の分野においても地域内外の交流の場となるよう、広くその機会を提供した。

●産業振興

「TECH BEAT Shizuoka2024」や「LEC静岡2024」をはじめとするBtoB型の大規模イベントを開催し、県内産業の振興に寄与した。

●TECH BEAT Shizuoka 2024

主催:TECH BEAT Shizuoka実行委員会 7/25(木)~27(土) 大ホール・海ほか 7,622人

静岡県内事業者と首都圏を中心に集積するスタートアップとの出会いの場を創出し、両者の共創を通じた県内産業の活性化や企業変革、新規事業の創出を促すため、2019年に始まったビジネス商談会「TECH BEAT Shizuoka」。通算10回目の開催となった今回は、過去最多となる139社のスタートアップが出展。会場の各所で活発な商談が行われたほか、初めて開催日に土曜日を含めて学生や家族連れにも開放し、幅広い世代がスタートアップ等の先端技術に触れる機会が提供された。



●第4回地方経済未来会議 LEC静岡2024「静岡のための本気経営カンファレンス」

主催:一般社団法人静岡イノベーションベース 11/7(木)・8(金) 中ホール・大地 約600人



11月7日・8日の2日間、「LEC静岡2024」が開催され、全国のIB会員、EOメンバー、LEC静岡の賛助企業、地元自治体関係者、経営者、ビジネスマン、学生など600人以上が集い、過去最大規模で実施された。地域経済の未来を真剣に見つめ、互いに刺激し合う場となった本イベントは、全国からの参加者の熱い期待に応える、充実した内容となっていた。経営の第一線で活躍する上場企業の経営者25人を含む43人の豪華講師陣が集結し、合計で28個ものコンテンツが展開された。

●文化振興・国際交流

日中芸術家による展示会やジャポニズムに影響を受けたクラシックをテーマとしたコンサートなど、海外と日本をつなぐ文化イベントの開催を通して国際的な文化活動交流の機会を創出した。

●青山行不尽～唐詩ロード日中芸術家作品特別展覧会in静岡

主催:静岡県日中友好協議会 10/23(水)~29(火)
展示ギャラリー 約14,000人

中国の文化的遺産「唐詩」をコンセプトに「青山行不尽～中日唐詩ロード芸術展」が開催された。会場には、静岡県書道連盟、東京芸術大学、浙江省文史研究館、中国美術学院など日中80人以上の芸術家により、製作した中国画、油絵、書道、版画、彫刻等の作品100点以上が展示された。伝統的手法と現代的感覚を組み合わせた独特な作品に、日中両国で千年以上積み重ねられた悠久の歴史文化と交流の融合の足跡を感じる展示会だった。



●『北斎とジャポニスムコンサート』北斎の影響を受けた印象派の作曲家たちから新作オペラ『The Great Wave』

主催:NTT ArtTechnology 2025/3/22(土)
中ホール・大地 約700人
指揮:角田鋼亮 管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団ほか

2026年2月に英国スコットランドで世界初演が行われるオペラ《The Great Wave》にちなみ、「北斎とジャポニスム」をテーマにしたコンサートを開催。来場者はジャポニスムの影響を受けたクラシックの名曲を楽しみ、北斎の影響を受けたドビュッシー交響詩「海」とラヴェル「洋上の小舟」については、北斎作品をスクリーンに上映し、絵と演奏を同時に鑑賞した。コンサートの後半では、オペラの作曲家 藤倉大(英国よりオンライン出演)と演出家 宮城聡が《The Great Wave》世界初演にむけたクロストークを繰り広げた。さらに、中ホール・大地のホワイエでは、北斎の高精細デジタルデータを活用したレプリカ及びデジタルアプリケーションが展示された。



葛飾北斎「神奈川沖浪裏 富嶽三十六景」(部分)
(山梨県立博物館所蔵 画像提供:株式会社アルステクネ)

●ホールの新たな利用方法

全国規模のコンテストの審査会場として大ホールの利用があり、グランシップ初開催の催事をサポートした。ランウェイや審査員席を設営するなど、新たなジャンルの活用事例となった。

●Beauty Japan FUJIYAMA/NEO 2024

主催:株式会社MixLine 8/17(土) 大ホール・海 約2,000人

「Beauty Japan」は“社会で活躍する女性を増やす”ことを目的としたコンテストプログラム。日本大会へと繋がる全国に点在する予選エリアの中で、FUJIYAMAエリアは最大規模。出場資格に年齢や容姿、未婚/既婚などの制限は一切なく、それぞれの想いや背景、活動などを2000人の前でプレゼンテーションする機会を設けている。後援自治体も多数、地域貢献、社会貢献を掲げて毎年開催。



●東静岡周辺のにぎわいに寄与する屋外広場活用イベント

ホールおよび広場の特性を活かしたイベントを開催、静岡県内をはじめ県外からも多くの来場者を迎えることで魅力ある交流拠点の形成を進めた。

●静岡ケモノスクエア8

主催:静岡ケモノスクエア
5/11(土) 交流ホール 245人



2024年5月、交流ホールおよび展示ギャラリーにて「静岡ケモノスクエア8」を開催。本イベントはオリジナルケモノキャラクター文化の普及を目的とし、着ぐるみでの参加、キャラクターの写真撮影会などを通じて、全国のファンやクリエイターが交流する催しとなっている。前年を上回る参加申込があり、静岡県内外から多数の来場者が訪れた。

●おいもフェスSHIZUOKA 2025

主催:株式会社nonii 2025/3/7(金)~9(日) グランシップ広場 約12,000人



静岡県イベントランキングで1位を獲得し、約12,000人を動員した県内最大級の焼き芋イベントがグランシップ広場にて初開催。県内をはじめ全国各地から人気焼き芋&おいもスイーツ専門店など約60店舗が集結した。初日の金曜日は地元テレビ局の生中継もされ、土曜日から日曜日にかけて、静岡の食文化や伝統・工芸などに触れる体験ができる「しぞ〜かEXPOエリア」、小さなお子さんから大人まで楽しめる、「体験あそびエリア」、わんちゃんと一緒にグルメ・グッズ・ものづくり体験などが楽しめる「わんわんエリア」が設けられ、会場内のステージでは、大道芸やダンス発表会、ギターの弾き語りや楽器演奏などパフォーマンスもあり賑やかな3日間となった。

●利用者サービスの向上

利用者サービスの向上を図るため、利用者から直接ご意見を伺う機会として利用者会議を実施している。

●利用者会議（趣味活・推し活主催者）

2024年度は、個人の趣味の集まりやサークルの主催者を招き、会議室や練習室での趣味活・推し活利用や、コスプレ・アニソンイベント・ボードゲーム・カメラサークル等の新たな催事の誘致について、意見交換を行った。利用者の趣味活動の話をはじめ、職員の趣味や推し活の話なども交えた活発な発言があり、今後の新たな利用促進につながる貴重な機会となった。



●2024年度入館者数…586,333人

●主要施設の稼働実績 全体の稼働率は75.9%。

	大ホール	中ホール	交流ホール	会議ホール	展示ギャラリー	ホール系計
稼働実績	201日	266日	226日	236日	232日	1,161日
利用可能日数	287日	311日	315日	322日	325日	1,560日
稼働率 稼働実績／利用可能日数	70.0%	85.5%	71.7%	73.3%	71.4%	74.4%

●利用者アンケート結果

回答数	3,649件／5,036件（回答率72.5%）	
結果	施設・備品が使いやすい	99.6%
	館内サインがわかりやすい	99.9%
	スタッフの対応が良い	99.9%

●催事開催支援サービス

グランシップでの催事開催にあたって必要な各種手配をワンストップで支援するサービス。

メニュー	サービスの内容
飲食	弁当、ケータリング、パーティー
テクニカル	音響照明、看板、生花、会場設営
清掃	レイアウト転換、ごみ処理
警備	雑踏警備・駐車場警備

●エネルギー使用実績

効率的なエネルギー運用に取り組み、エネルギー総量は2013年※に比べて11.8%減少。

電	気	5,377,650kWh
ガ	ス	674,024m ³
エネルギー総量		83,133GJ

※2013年は静岡県地球温暖化対策実行計画の開始基準年

施設のご予約・サービスに関するお問い合わせ

(公財) 静岡県文化財団 利用サービス課

054-203-5713 (受付時間9:00~18:00 ※休館日を除く)

✉ yoyaku@granship.or.jp

空き状況は
WEBで
ご覧いただけます



グランシップ

検索



施設予約はコチラから

主な貸館事業一覧

開催日	催 事 名	開催日	催 事 名
4/20(土) ～4/21(日)	静岡美酒祭2024	11/2(土)	静岡県高等学校文化連盟 器楽・管弦楽専門部 第28回演奏会
4/26(金) ～27(土)	日本心血管インターベンション治療学会 第50回東海北陸地方会	11/2(土) ～11/3(日祝)	第52回全青司しずおか全国研修会
4/28(日)、 8/25(日)	2024年中部日本ダンス競技静岡県大会	11/6(水) ～11/10(日)	第72回静岡県高等学校美術・工芸展
5/11(土)	静岡ケモノスクエア8	11/7(木) ～11/8(金)	第4回地方経済未来会議 LEC静岡2024 「静岡のための本気経営カンファレンス」
5/25(土)	JMK静岡県歌謡選手権大会	11/13(水)	東海税理士会主催 税理士の業務のデジタルフォーラム2024
5/30(木) ～5/31(金)	QCサークル東海支部静岡地区 さつき大会	11/13(水)	新技術交流イベントin Shizuoka 2024
6/1(土)	第37回静岡県作業療法学会	11/15(金) ～11/18(月)	第50回全国語学教育学会年次国際大会/教材展示会
6/22(土) ～6/23(日)	第27回静岡県理学療法学会大会	11/24(日)	ふじのくに芸術祭 合唱コンクール
6/22(土)	第10回静岡県高等学校軽音楽大会	11/26(火) ～11/28(木)	電子情報通信学会電磁界理論研究会
6/23(日)	マルシェ@グランシップ	11/27(水) ～11/29(金)	第2回世界マリンステーション会議
6/30(日)	第15回静岡県消化器内視鏡技師会	12/5(木) ～12/9(月)	第33回愛護ギャラリー展
7/14(日)	2024ダンススポーツグランプリin静岡	12/7(土) ～12/8(日)	大学サミット・ヒガナンフェスティバル
7/25(木) ～7/27(土)	TECH BEAT Shizuoka 2024	12/19(木) ～12/20(金)	第34回日本循環薬理学会学術集会
8/17(土)	Beauty Japan FUJIYAMA/NEO 2024	12/21(土)	静岡県高等学校文化連盟 軽音楽専門部 第9回静岡県高等学校軽音楽大会
8/18(日)	静岡県腎友会第16回定期大会	1/3(金)	2025静岡市 二十歳の記念式典
8/24(土) ～8/25(日)	第29回日本難病看護学会学術集会	1/6(月) ～1/7(火)	生体運動合同班会議2025
8/28(水) ～8/29(木)	第36回バイオメディカル分析科学シンポジウム	1/8(水) ～1/9(木)	第7回医薬品毒性機序研究会
8/31(土)	第14回全日本高等学校チームダンス選手権大会	1/10(金)	令和7年 静岡県警察 年頭視閲式
9/7(土)	JMK静岡県歌謡選手権大会	1/11(土)	第13回静岡県看護学会
9/14(土)	静岡県外科医会 第250回集談会	1/16(木)	第6604回QCサークル静岡地区「新春大会」
9/15(日)	静岡県高等学校総合文化祭	1/24(金) ～1/27(月)	静岡県特別支援学校高等部 第35回合同作品展
9/23(月休) ～9/25(水)	日本放射化学会 第68回討論会	1/25(土)	静岡県防衛協会主催 第44回 静岡音楽祭
9/28(土) ～9/29(日)他	ノジマリーグ2023-2024シーズン	2/11(火祝)	SERENDIPITY SHIZUOKA TANKYU COLLECTION
9/29(日)	第40回静岡接骨学会	2/14(金) ～2/16(日)	Shizuoka-Products Forum 2025
10/4(金) ～10/5(土)	第6回 SING Live研究会	2/15(土)	令和7年静岡県柑橘生産者大会
10/6(日)	SHIZUOKAダンスコレクション in 2024	2/28(金)	2025年3・1ピキニデー日本原水協 全国集会
10/13(日) ～10/14(月祝)	小原流静岡支部創立90周年記念花展	3/7(金) ～3/9(日)	おいもフェス SHIZUOKA 2025
10/18(金) ～10/19(土)	民間放送教育協会 テレビのチカラ 中部・北陸・関西・中国地区大会 2024静岡	3/8(土) ～3/9(日)	南アルプスユネスコエコパーク 登録10周年記念シンポジウム
10/23(水) ～10/29(火)	青山行不尽 ～唐詩ロード日中芸術家作品特別展覧会in静岡	3/22(土)	『北斎とジャポニスムコンサート』北斎の影響を受けた印象 派の作曲家たちから新作オペラ『The Great Wave』まで
10/25(金)	QCサークル東海支部静岡地区 秋桜大会	3/29(土)	第22回日本インターベンショナルネフロロジー学会
10/27(日)	ふじのくに芸術祭 邦楽演奏会		

その他の取組

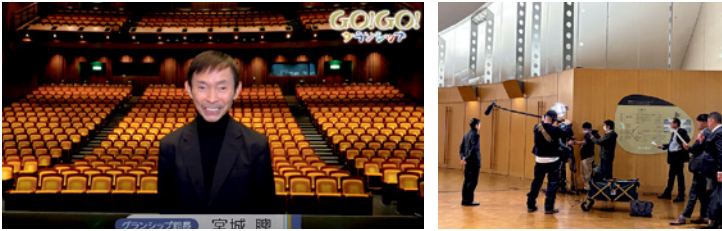
公益財団法人静岡県文化財団は、多岐にわたる事業や取組を通じて、県民文化の振興を図っている。ここでは、これまでに取り上げていないものに関して紹介する。

1. 「GO!GO!グランシップ」の放送

開館25周年を迎えた2024年度、多くの県民の皆様がさらにグランシップへ足を運ぶきっかけとなるよう、静岡朝日テレビ「とびっきりしずおか!土曜版」にて月1回の放送枠を設けた。グランシップで実施する文化芸術イベントの案内に加え、県全域を対象に実施する出前事業やアウトリーチプログラム、グランシップサポーターの活躍の様子など、当財団およびグランシップが行う、地域の文化芸術振興に関するあらゆる活動を紹介した。世帯視聴率は最高で10.2%を記録し、多くの方々に情報を届けることができた。



放送日
4/27(土)・5/25(土)・6/29(土)・7/27(土)・8/31(土)・
9/28(土)・10/26(土)・11/30(土)・12/21(土)・
2025/1/25(土)・2/22(土)・3/29(土)



これまでの放送は
こちらから➡



2. グランシップしずおか食彩フェスティバル

静岡県との協働により、「しずおか型ガストロミーツーリズム」の魅力認知度向上のためのイベント「グランシップしずおか食彩フェスティバル」を実施した。ガストロミーツーリズムとは、その土地の気候風土が生んだ食材、習慣、伝統、歴史などによって育まれた食を楽しみながら旅をするもので、静岡が国内外に誇る農水産物や地元の食文化を紹介し、県民が改めて静岡の食文化の魅力を認識する好機となった。同時開催の「グランシップこどものくに」へ来場した親子連れを中心に、多くの人々が静岡の食文化を体験し、味わう機会となった。



3. ふじのくに地域づくり創造賞

社会課題への対応や地域資源を活かした創造的な活動を通して「新しい価値を暮らしの中に」創造していくことが期待される活動の担い手に対して、その功績を表彰した。

●2024年度受賞者

団体・個人部門

持塚三樹 〈美術家〉
(藤枝市)



藤枝市を拠点に現代美術の分野で活動し、国内外で精力的に作品発表を続ける美術家。2008年頃からは、子どもたちを対象に、地域住民を主体としたアートプロジェクトを展開。焼津市や藤枝市を中心に、若手作家活躍の場の開拓、気軽に芸術文化に触れられる機会づくりを目指して、芸術祭や美術展、ワークショップなどを多数開催し、文化芸術を通じた地域の魅力向上に寄与している。

企業部門

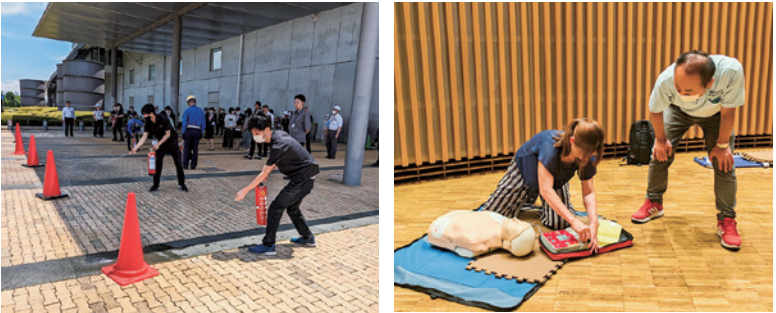
株式会社BASE TRES
(松崎町)



西伊豆町の山中にある古道の再生と整備に着手し、マウンテンバイクツアーを事業化したほか、森林整備で切り出された木材を燃料に活用する宿を立ち上げた。2025年には、広葉樹の薪火だけで店内の全てのエネルギーを賄うレストランを全国で初めてオープン。地域資源を活用するだけでなく、循環を作り出すことに意識を向け、実践者として事業を生み出す姿勢と、その創造力にあふれる先進的な取組は、国内外問わず注目を集めている。

4. 防災訓練の実施

災害時における来館者の安全確保に万全を期すため、財団職員に加えて、常駐委託業者スタッフも参加した防災訓練を実施した。また、外部講師を招いて、地震対応の基本を学ぶ災害対応研修を行い、職員の防災スキルの向上を図った。



日 時	内 容
4/16(火)	自衛消防組織について 消火設備の説明と確認
5/21(火)	火災想定事前訓練
6/11(火)	火災想定総合防災訓練
7/10(水)	火災想定総合防災訓練振り返り
9/10(火)	救急救命講習
12/10(火)	地震想定事前訓練
2025/1/21(火)	地震想定総合防災訓練
2/5(水)	地震想定総合防災訓練振り返り
3/4(火)	災害対応研修

5. 県委託・補助事業

●子どもが文化と出会う機会創出事業

静岡県内に活動拠点を置くプロオーケストラ（富士山静岡交響楽団、シンフォニエッタ静岡）による、小学校、中学校、高等学校等への地域訪問プログラムと、未就学児対象コンサートによる音楽プログラムを実施した。

①地域訪問プログラム 開催実績 計17会場

実 施 日	学 校 名
6/10(月)	島田市立島田第一中学校
6/11(火)	静岡県立松崎高等学校
6/28(金)	静岡県立袋井特別支援学校
6/28(金)	静岡県立天竜特別支援学校
9/17(火)	磐田東中学校
9/18(水)	静岡県立浜松視覚特別支援学校
10/22(火)	熱海市立多賀中学校
10/29(火)	沼津市立原東小学校
11/5(火)	河津町立河津中学校
11/14(木)	函南町立函南中学校
11/28(木)	藤枝市立岡部小学校
12/2(月)	裾野市立西中学校
12/4(水)	三島市立北中学校 他(7校合同)

実 施 日	学 校 名
12/17(火)	清水国際高等学校
12/19(木)	沼津市立第一中学校
2/12(水)	静岡県立東部特別支援学校伊豆高原分校
3/12(水)	伊豆市立天城中学校



②未就学児プログラム 開催実績 計3会場

実 施 日	会 場
8/24(土)	菊川文化会館アエル
9/22(日・祝)	長泉町文化センター ベルフォーレ
9/23(月・休)	藤枝市民文化会館



6. 令和6年能登半島地震への支援

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」にて被害を受けた文化財の復興を支援するため、6月から8月のグランシップ企画事業を「令和6年能登半島地震支援事業」とし、2023年度に引き続き募金活動を実施した。多くのお客様のご協力を得て、お預かりした募金96,555円を石川県に寄付した。

静岡県文化財団を支える人々、2024年度ご協賛・ご協力団体・企業（敬称略）

●グランシップサポーター

文化振興に関心があり、文化活動に積極的な県民の自主的な参加・参画を得て、グランシップの円滑な事業運営を図った。
2024年度は、県民がより参加しやすい仕組みとなるよう制度の見直しを行った。

（2025年4月1日現在）

部 門	内 容	登録者数
広報	ダイレクトメール発送、広報勉強会、企画事業準備作業等	42人
レセプションист	公演実施日の受付、もぎり、資料配布、会場案内、避難誘導等	31人
撮影	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理等	21人
ちょこっと	イベントでの見守り、展示での監視等	16人
計		110人

●グランシップ友の会（2025年3月31日現在）

(1)個人会員 19,324人

(2)法人会員 20社

【特別会員】5社

静岡ガス株式会社 鈴与株式会社 株式会社静岡新聞社・静岡放送株式会社
株式会社しずおかフィナンシャルグループ

【一般会員】15社

株式会社ステージ・ループ静岡	静岡県ビルメンテナンス協同組合	静岡信用金庫
株式会社ピーエーシー	株式会社テレビ静岡	ダイドードリンコ株式会社
株式会社イノウエテクニカ	静岡エフエム放送株式会社	株式会社コアズ
株式会社望月商事	学校法人常葉大学	丸茂電機株式会社
株式会社東京企画装飾静岡	国立大学法人静岡大学	株式会社近藤リース

●特別賛助会員 株式会社イノウエテクニカ

●特別協賛「グランシップ&静響ニューイヤーコンサート」 静岡ガス株式会社

●協賛「グランシップこどものくに～ぱくぱく!もぐもぐ!～」

R.B.SESSION 株式会社アイエイアイ アレモキッチン／コレモストア 伊豆シャボテン動物公園グループ
株式会社エクセル東海 SBS学苑 エスビートム株式会社 株式会社くふう住まい
サッポロビール株式会社 静岡県牛乳普及協会 清水食品株式会社 生活協同組合バルシステム静岡
ダイドードリンコ株式会社 ホテルグランヒルズ静岡（ブリーズベイ静岡株式会社）
三菱地所プロパティマネジメント株式会社（MARK IS 静岡） 株式会社望月商事 生活協同組合ユーコープ

「グランシップ世界のこども劇場2024」

公文式 羽鳥4丁目教室・小石川教室

2024年度 公益財団法人静岡県文化財団事業体系図

静岡県文化財団は、文化の力による「心豊かで活力ある社会の持続的な発展」を目指します。

使 命

- 個性豊かな文化芸術が県民とともにある地域社会を創造する。
- 人々が“集う・交流する”ことを促進する。

メッセージ

～新しい価値を暮らしの中に～

文 化 芸 術 の 振 興

文化芸術との幸せな出会いの提供による寛容な社会の形成

- ① 未来を担う子どもたちのために
- ② あらゆる世代の多様なニーズに応える
- ③ 集いと創造の拠点
- ④ 伝統芸能の継承と発展

ア 心を豊かにする多彩な鑑賞
イ 関心・理解・親しみを深める教育普及
ウ 誰もが主人公となる県民参加

文化を取り巻く人々のプラットフォームとして地域の文化を支援

社会の多様な担い手による創造的活動の支援

様々な分野との連携

国 内 外 と の 交 流

あなたと世界を文化でつなぐ広場

にぎわいと活力を生み出す広場

多様なニーズに応える、安心・安全、快適な施設

財 団 経 営 の 基 盤 強 化

持続的な活動を支える経営の安定化

新しい社会環境での働き方

2024年度決算状況

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
	文化・芸術	収益事業	友の会	小 計			
I 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	4,285,418	0	0	0	2,856,946	—	7,142,964
特定資産運用収益	0	0	0	0	46,767	—	46,767
事業収益	815,267,303	512,669,025	8,286,9630	520,955,988	10,949,311	△ 3,602,747	1,343,569,855
受取補助金等	172,236,599	0	0	0	0	—	172,236,599
受取負担金	13,000,000	0	0	0	0	—	13,000,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	—	0
特別賛助会員会費	100,000	0	0	0	0	—	100,000
雑収益	852,976	2,546,023	20,285	2,566,308	74,449	—	3,493,733
経常収益計	1,005,742,296	515,215,048	8,307,248	523,522,296	13,927,473	△ 3,602,747	1,539,589,318
(2) 経常費用							
事業費	1,027,093,326	474,924,836	8,937,157	483,861,993	—	△ 3,602,747	1,507,352,572
管理費	—	—	—	—	21,812,417	—	21,812,417
経常費用計	1,027,093,326	474,924,836	8,937,157	483,861,993	21,812,417	△ 3,602,747	1,529,164,989
(3) 評価損益等計	0	0	0	0	0	—	0
当期経常増減額	△ 21,351,030	40,290,212	△ 629,909	39,660,303	7,884,944	0	10,424,329
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	—	—	—	—	—	—	—
(2) 経常外費用	—	—	—	—	—	—	—
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	—	0
3 他会計振替額	15,568,046	△ 23,330,039	△ 122,951	23,452,990	7,884,944	—	0
4 法人税、住民税及び事業税	0	6,082,100	0	6,082,100	0	—	6,082,100
当期一般正味財産増減額	△ 5,782,984	10,878,073	△ 752,860	10,125,213	0	0	4,342,299
一般正味財産期首残高	19,514,561	220,549,210	9,142,254	229,691,464	338,780	—	249,544,805
一般正味財産期末残高	13,731,577	231,427,283	8,389,294	239,816,677	338,780	0	253,887,034
II 指定正味財産増減の部							
(1) 基本財産評価益	0	0	0	0	0	—	0
(2) 基本財産評価損	23,889,826	0	0	0	15,926,550	—	39,816,376
(3) 基本財産売却損	558,328	0	0	0	372,218	—	930,546
当期指定正味財産増減額	△ 24,448,154	0	0	0	△ 16,298,768	—	△ 40,746,922
指定正味財産期首残高	607,677,504	0	0	0	405,118,335	—	1,012,795,839
指定正味財産期末残高	583,229,350	0	0	0	388,819,567	—	972,048,917
III 正味財産期末残高	596,960,927	231,427,283	8,389,394	239,816,677	389,158,347	—	1,225,935,951

グランシップ概要

正式名称	静岡県コンベンションアーツセンター
所在地	静岡県静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
開館時間	午前9時～午後10時
休館日	不定期、12月29日～1月3日
敷地面積	36,009.5㎡
建築面積	13,647.3㎡
延床面積	60,630.0㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造
階数	地上12階、地下2階
建物全長	約200m
最大幅	約80m
最高高さ	約60m
開館	平成11年3月13日
駐車場	約400台

グランシップ利用状況

年度	大ホール	中ホール	交流ホール	会議ホール	展示ギャラリー	全体平均
2022	81.1	78.9	68.6	67.4	71.4	73.1
2023	77.5	84.7	67.1	73.0	82.0	76.9
2024	70.0	85.5	71.7	73.3	71.4	74.4

グラシシップ来館者数 (単位：人)

年度	来館者数	累計
2022	562,017	15,712,759
2023	572,763	16,285,522
2024	586,333	16,871,855

沿革

1984年5月	● 財団法人静岡県文化財団設立(基本財産:県9億円、市町村1億円、県民等47万円) 「文化鑑賞の提供事業」:地域音楽公演 「地域文化の振興事業」:文化団体への助成 「文化意識の啓発事業」:地域文化活動の顕彰 「文化情報の提供事業」:静岡の文化(季刊)の発行
1985年1月	● 季刊「静岡の文化」創刊号発行
1994年	● (財)静岡県文化財団10周年記念出版「今川時代とその文化」発行
1995年12月	● 静岡県が県民国際プラザ(仮称)建築工事着手
1996年	● 静岡県は県民国際プラザ(仮称)の名称を「静岡県コンベンションアーツセンター」、愛称を全国公募により「グランシップ」に決定
1998年3月	● 情報誌「G」発刊
〃 11月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ管理運営業務受託、テストラン実施(～1999年2月)
1999年3月13日	● グランシップ開館
〃 3月～	● グランシップ開館記念事業開催(アニメーションワークス、バルーンアートフェスティバル 他)
2004年3月～	● グランシップ開館5周年記念事業開催(糸操り人形「夢の浮橋～人形たちの『源氏物語』」、新作能「利休」 他)
2006年4月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ指定管理者として管理運営業務受託(3年間)
2008年2月～	● グランシップ開館10周年記念事業(オペラ「椿姫」、北大路魯山人展 他)
2009年4月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ第2期指定管理者として管理運営業務受託(3年間)
2011年2月	● 季刊「しずおかの文化」100号で廃刊、新たに「しずおかの文化新書」発行
〃 4月	● 文化団体への助成を見直し、「ふじのくに文化芸術振興助成」制度開始 地域音楽公演に代わり、「中高生芸術鑑賞支援(県内の中高生がグランシップで芸術鑑賞する際の交通費支援)」事業開始
2012年4月	● (財)静岡県文化財団がグランシップ第3期指定管理者として管理運営業務受託(5年間)
〃 12月	● グランシップと中国浙江省杭州劇院との間で友好交流協定締結
2013年4月	● 公益財団法人静岡県文化財団としてスタート
2015年3月末	● 新情報誌「GRANSHIP」発刊
2017年4月	● (公財)静岡県文化財団がグランシップ第4期指定管理者として管理運営業務受託(5年間)
2019年3月～	● グランシップ開館20周年記念事業開催(春の音楽祭等)
2021年1月	● (公財)静岡県文化財団内に「アーツカウンシルしずおか」を設置
〃 4月	● グランシップ1階に「アーツカウンシルしずおか」を開所
2022年4月	● (公財)静岡県文化財団がグランシップ第5期指定管理者として管理運営業務受託(5年間)

《グランシップ運営体制》

グランシップサポーター

【舞台設備運営】
株式会社ステージ・ループ静岡

【設備保守・インフォメーション】
株式会社イノウエテクニカ

【警備】
株式会社コアス

【清掃】
静岡県ビルメンテナンス協同組合

【レストラン・ケータリング】
株式会社なすび

